



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年10月②号

21号台風の被害の調査へ

選挙と台風が過ぎて、大変です。台風21号は各地に被害をもたらしていました。北区山間地域では、倒木による影響で、道が寸断され、電柱も倒れ、全戸が停電になる等の問題が起きました。

雲ヶ畑の地域は、高雄の方から持ち越し峠回りなら、行けるということで、調査とお見舞いに行ってきました。高齢者がおられるご家庭では、夜の寒さがきついと言っておられました。あらためて、電気に頼った生活が停電により、生活に及ぼす影響を目の当たりにしました。家庭の電話も携帯電話も、電気がないと、通話もできず、連絡が取れないこと、寒さ対策としては、電化製品のこたつやファンヒーター、電気毛布が使えず、湯たんぽなどを利用するなど工夫をされていました。ガスが使えたことが良かったようです。

自主防災や社会福祉協議会、自治連合会、出張所の皆さんが、力を合わせ、全戸を訪問され、情報把握もされました。緊急に避難の必要な人はおられないとのことでした。

雲ヶ畑は以前にも土砂崩れや積雪などで、停電や通行止になったことがあります。いざという時の為に、自家発電や蓄電機能が必要だと感じました。



雲ヶ畑地域で倒木の様子。

市民と野党の共闘政治 新しい政治のスタート

日本共産党の議席は改選前21議席から12議席と後退する結果となり、残念であり、力不足を痛感します。一区のこくた恵二候補は比例で当選しましたが、一区からは押し上げることができず、本当に残念です。しかし、参議院選挙以降に進めて来た、市民と野党の共闘の新しい政治は前進しました。

民進党の解体による問題では、立憲民主党ができ、躍進されました。日本共産党は全国で83の小選挙区で候補者を立てずに、野党の共闘の立場で選挙戦を闘いました。その結果、32人の候補者が当選しました。政治の私物化や憲法九条の改悪、消費税増税を数の多数で進めさせるわけにはいきません。新しい国会では、市民の皆さんと共に引き続き、安倍暴走政治に野党共闘の力で頑張る決意です。



右はジャーナリストの守田敏也さん。市民と野党の共闘をすすめようと、演説会で応援の訴えをしていただき、こくたさんと握手。

つぶやき：マスコミのあり方

今回の総選挙は民進党の突然の解体と希望の党ができ、混乱した選挙となりました。元々、解散総選挙となった**安倍首相の政治の私物化問題**はほとんど報道されず、希望の党にどの議員が所属するのか、小池都知事が候補者になるのかななどの報道が目立ちました。ある報道番組では、小泉進次郎議員のインタビューで「応援しています」と中立を保つ立場のキャストが発言する等、問題を多く感じる報道でした。市民の暮らしに目を向けた報道であるべきだと強く思います。

アンテナ

心に残る一票

出雲路地域の後援会報告会で、Iさんのお話をお聞きしました。Iさんはいつも、お会いすると、強く握手をし、「頑張ってる」と激励をして下さる高齢の女性です。こくた恵二さんの大ファンでした。最近は一人数での暮らしが厳しくなってきた、ショートステイなどを利用して入所するようになった。今回、他の行政区の施設に入所することが決まりましたが、選挙の投票をどうしてもしたいと、入所の日を投票日の次の日にして、今回の総選挙の投票を北区でされました。Iさんが投票できたことをとても喜ばれて、その姿に接し、これまで投票に行っていたことがなかったお孫さんが、初めて選挙にいったとのことでした。投票することの大切さがお孫さんに伝わったのだと思います。

市民と野党の共闘の議席

新潟では、元民進党の衆議院議員が、支持者や地方議員などに相談し、希望の党ではなく、無所属で、野党の統一候補として闘ったそうです。その結果なんと50票差の僅差で自民党の候補者を抑え、当選したとのこと。日本共産党は候補者を降ろし、応援しました。希望の党を選択されていたら、日本共産党は候補者を立てて闘うことになり、結局自民党候補が当選したことになります。今後の野党の共闘の未来を示す議席だと思いました。

